



が、スマート!

# 敷地内ガス管損傷事故防止について

2021年12月

一般社団法人 日本ガス協会

1. 日本ガス協会の概要
2. 事故の発生状況
3. 敷地内のガス管損傷事故について
  - 3-1. ガス管損傷事故防止のポイント
  - 3-2. 二次災害発生の防止
4. 国とガス業界の取り組み
5. その他

# 1. 日本ガス協会の概要

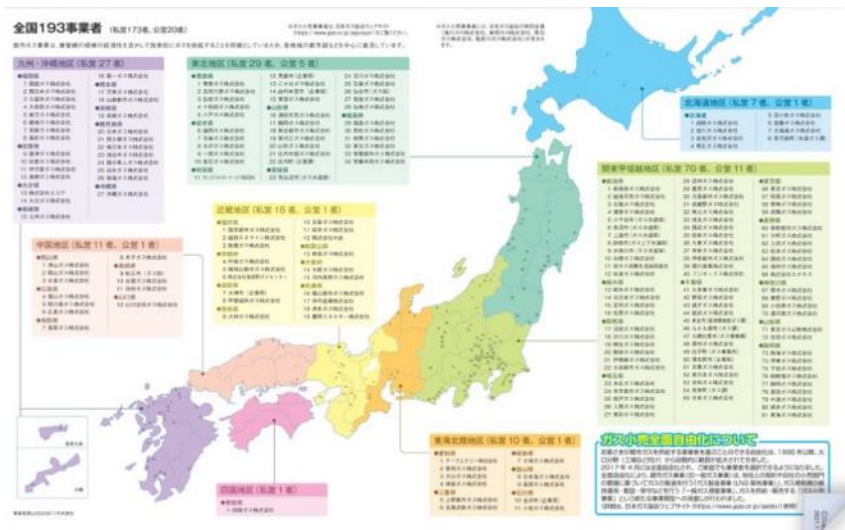
日本ガス協会は、都市ガス事業の健全な発達を図ると共に、**天然ガスの普及拡大、エネルギーの安定供給と保安の確保、環境問題への対応を通じて、社会的貢献を果たすことを目的**とする都市ガス事業者の団体です。

## ■ 全国の都市ガス事業者（193事業者）

導管網の規模の経済性を活かして効率的にガスを供給することを特徴としているため、各地域の都市部等を中心に普及。

## ■ 都市ガスのお客さま件数（※）

全国で約2,740万件のお客さまに都市ガスをご利用いただいています。

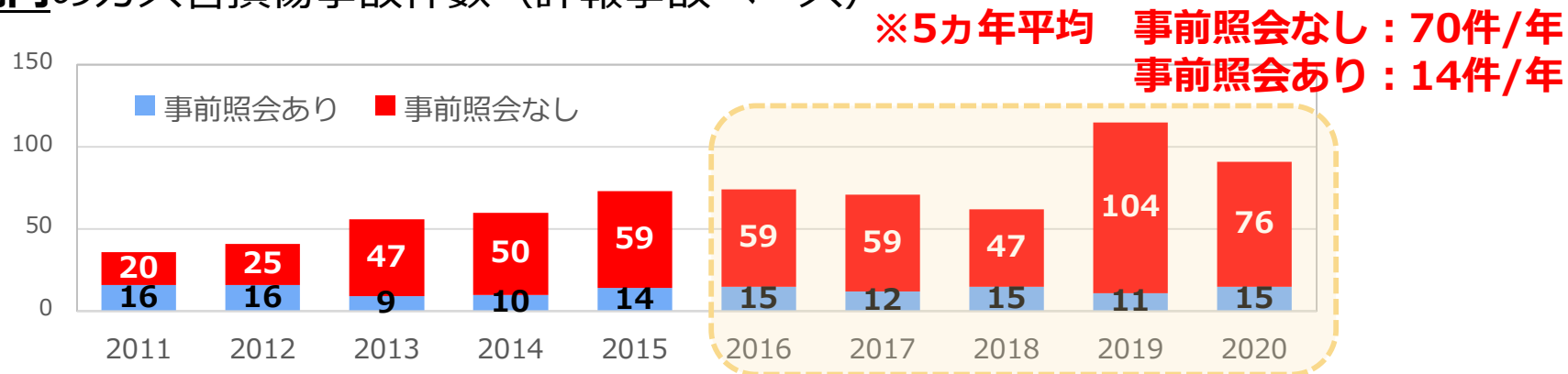


※出典：資源エネルギー庁 ガス事業生産動態統計調査  
 ※各年度3月末の調停数（ガス料金の請求対象のガスメーター数）

## 2. ガス管損傷事故の発生状況

- ・ **敷地内**におけるガス管損傷事故件数は、ここ数年高止まりしています。
- ・ 特に**ガス会社への事前照会をせず**に起こしたものが大半を占めています

### ■ 敷地内のガス管損傷事故件数（詳報事故ベース）



### ■ 道路上のガス管損傷事故件数（詳報事故ベース）



### 3. 敷地内のガス管損傷事故について

- **工事中のガス管損傷事故**は、発生状況によって**着火・爆発で死傷者**が出るなど、じんだな被害が生じる場合があります。
- 敷地内における工事には、建物管理者・住民など多くの関係者がいますが、その中でも、**特に、工事現場作業の方に注意意識を強く持ってください**ことが、ガス管損傷事故を防止する上で重要になります。
- 過去の労働災害事例などを紹介しながら、ガス管損傷による**労働災害・人身被害を防ぐためのポイント**を説明します。

# 3. 敷地内のガス管損傷事故について

## 3-1. ガス管損傷事故防止のポイント

ケース1 「ガス管はどこに？」

ケース2 「ガス管はどれ？」

ケース3 「ガスはどこで止まっている？」

## 3-2. 二次災害発生の防止

# 3-1. ガス管損傷事故防止のポイント

(ケース1) 「ガス管はどこに？」

# 3-1. ガス管損傷事故防止のポイント

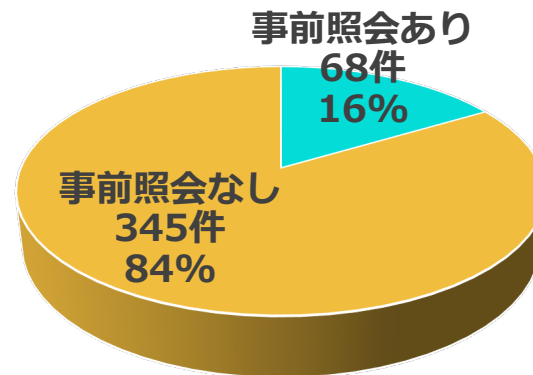
- 工事前に図面等でガス管の有無、位置、深さなどを確認してください。
- ガス管の有無、位置、深さが不明な場合、またはガス管の近くで工事をする場合は地域のガス会社に連絡して確認してください。また、必要に応じて、ガス会社と事前に協議を行ってください。
- 敷地内のガス管損傷事故は、ほとんどの場合ガス会社に事前連絡がない状態で工事をされた場合に発生しています。

## ■ 図面等でガス管の位置を確認



## ■ 敷地内のガス管損傷事故におけるガス会社への事前照会状況

(2016～2020年の5カ年)





# 3-1. ガス管損傷事故防止のポイント

ガス管が敷地に引き込みされている箇所に、**「標示杭」**や**「標示ピン」**が設置されている場合があります。このような場合、**付近に埋設しているガス管に留意**してください。

## ■ ガス管の埋設部分の標示例「標示杭」「標示ピン」



# 3-1. ガス管損傷事故防止のポイント

ガス管の埋設箇所に「**標識シート**」が設置されている場合があります。  
このような場合、**シート下に埋設しているガス管に留意**してください。

## ■ ガス管の埋設部分の標示例 「**標識シート**」



※埋設部において、ガス管の上部に設置

# 3-1. ガス管損傷事故防止のポイント

- ・ ガス管が埋設されている箇所が分かった場合でも、**ガス管の周囲は手掘り**で慎重に作業を行ってください。



# 3-1. ガス管損傷事故防止のポイント

(ケース2) 「ガス管はどれ？」



# 3-1. ガス管損傷事故防止のポイント

## 切断対象の誤認事例①「ガス管と水道管を間違えて切断」

ガス管を水道管であると思い込み、露出したガス管を電動工具で切断して  
しまった。



# 3-1. ガス管損傷事故防止のポイント

露出配管に「テープ」や「シール」でガス管であることを標示する場合があります。ガス管にガスが流れていないか確認の上、工事を行ってください。

## ■ ガス管の露出部分の標示例



標示テープ



標示シール

# 3-1. ガス管損傷事故防止のポイント

**(ケース3) 「ガスはどこで止まっている？」**

# 3-1. ガス管損傷事故防止のポイント

## 切断対象の誤認事例② 「ガスは止めたと思い込み切断」

当該敷地の所有者から「ガスは止めてある」と聞いたことから、敷地内にはガスの流れているガス管は無いと思い込み、解体作業中に露出したガス管を電動工具で切断してしまった。





# 3-1. ガス管損傷事故防止のポイント

「ガスは止めた」 ≠ 「ガスは通っていない」

メーター閉栓状態



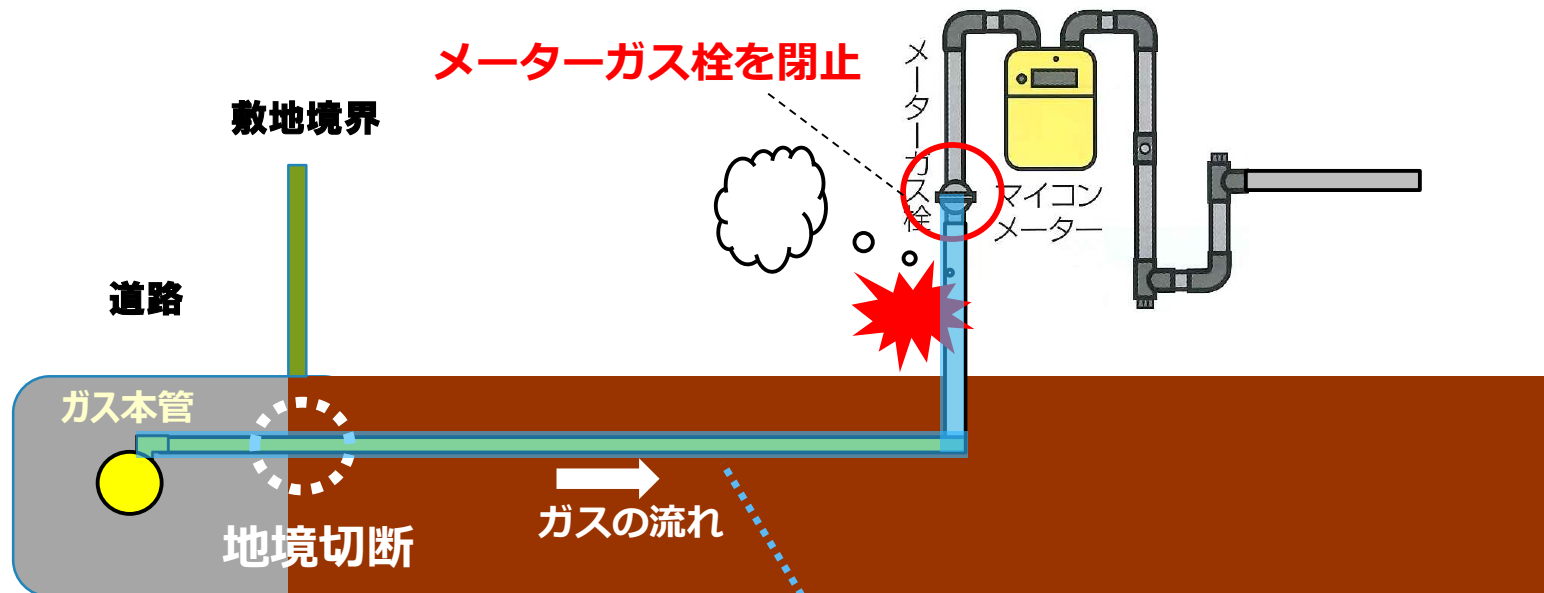
メーター取り外し状態



← メーターガス栓まで  
ガスは通っています →

# 3-1. ガス管損傷事故防止のポイント

「ガスは止めた」 ≠ 「ガスは通っていない」



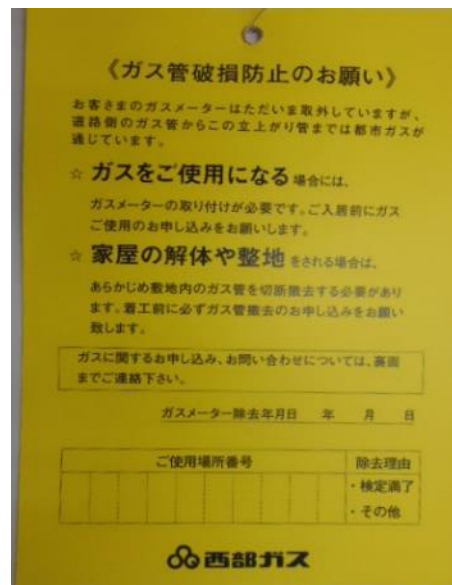
ガス管内にはガスは入っている状態

メーターガス栓が閉止されていても「地境切断」していない場合、敷地境界からメーターガス栓までの管内にガスは入っているため、**「ガスは通っていない」という誤解は禁物です。**

# 3-1. ガス管損傷事故防止のポイント

「ガスメーターが取り外されている」「ガスを使用していない」という場合でも、**ガス管にガスが通じている可能性**があり注意が必要です。

## ■ ガス管の現地での標示例



- ・メーターを除去した場合、このような絵符がガス管に取り付けられていることがあります。
- ・ガス管付近の掘削や解体工事を行う場合、事前にガス会社へ連絡をお願いします。

# 3-1. ガス管損傷事故防止のポイント

## 3つのポイント

### <ポイント1> 工事の前にまず確認

- 作業前に図面等でガス管の有無、位置、深さなどを確認してください。

### <ポイント2> 不明な点はガス会社へ

- 工事前の確認でガス管があるかどうか分からない場合や、ガス管の位置や深さが分からない場合、ガス管の近くで工事をする場合は地域のガス会社に連絡して確認してください。また、必要に応じて、ガス会社と事前に協議を行ってください。

### <ポイント3> 確認した情報は全員で共有

- ガス管の位置やガスが通じている範囲など工事前の確認・調査で得られた情報は、作業の方全員で共有してください。

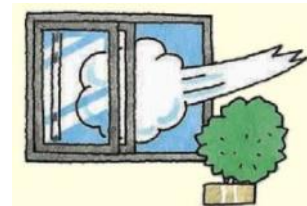
## 3-2. 二次災害発生の防止

万が一ガス管を損傷したりガス臭いと感じた時、以下の対応をお願いします

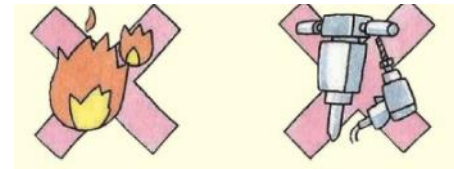
① すぐに地域のガス会社まで連絡してください



② 窓やドアを開けて換気を行ってください



③ 火気や電動工具は使用しないでください



④ 周囲へ周知、状況に応じて避難と避難誘導を行ってください



⑤ 可能な場合はガスの噴出を止めてください





# 5. その他（周知ツール例）

## ガス会社へのガス管の事前確認をお願いする **パンフレット** や **ステッカー**

### ■ 周知ツール例



パンフレット



ステッカー

# 5. その他（ガス管調査窓口検索サイト）

全国のガス事業者の窓口を検索できるサイト（日本ガス協会HPに開設）

## ■本サイトの紹介

**簡単 3 ステップ**

日本ガス協会 検索

スマートフォンやパソコンから「日本ガス協会」にアクセスします

**step 1** 「ガス管調査窓口」をクリック。

**step 2** 検索したい都道府県または市名、郡名を入力し、「検索する」をクリック。

**step 3** 検索結果一覧から都市ガス事業者の連絡先の確認をおこないます。

中国・四国地区

鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県  
徳島県 香川県 愛媛県 高知県

九州・沖縄地区

福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県  
宮崎県 鹿児島県 沖縄県

フリーワード検索

川越市

武州ガス株式会社

埼玉県川越市田町32-2

道路工事連絡先：  
049-242-6076 川越保安維持G

ガス管調査関連サイト（道路上）  
<https://www.bushugas.co.jp/safety/dourokouji/dourokouji.html>

敷地内工事連絡先：  
049-242-6076 川越保安維持G

ガス管調査関連サイト（敷地内）  
<https://www.bushugas.co.jp/safety/dourokouji/dourokouji.html>

※パソコン版とスマートフォン版では表示される画面が異なります。





# 終わりに

- ✓ **ガス管損傷事故防止を図るためには、工事関係者の皆様のご理解ご協力が必要です。**
- ✓ **ガス管の有無、位置、深さの事前確認が必要な場合は積極的にガス会社へのご連絡をお願い致します。**